

[年賀状の準備][Windows 11 大型更新の概要]

2024年11月23日 河出 修

[年賀状の準備]

1. 「筆まめ」について

年賀状や暑中見舞い等は、パソコンで作成・印刷するのが当たり前の時代になってきました。今回は「筆まめ」の「Ver.35」を取り上げて年賀状作成の基本的なことを説明します。「筆まめVer.35」は「筆王」「筆ぐるめ」から乗り換えが可能。また、5台までインストールできる。

2. 「筆まめ」の起動

- 「筆まめVer.35」のショートカットをダブル・クリックする。
- 「オープニングメニュー」画面が表示される。→「宛名面を作る」をクリックする。



3. 差出人の登録

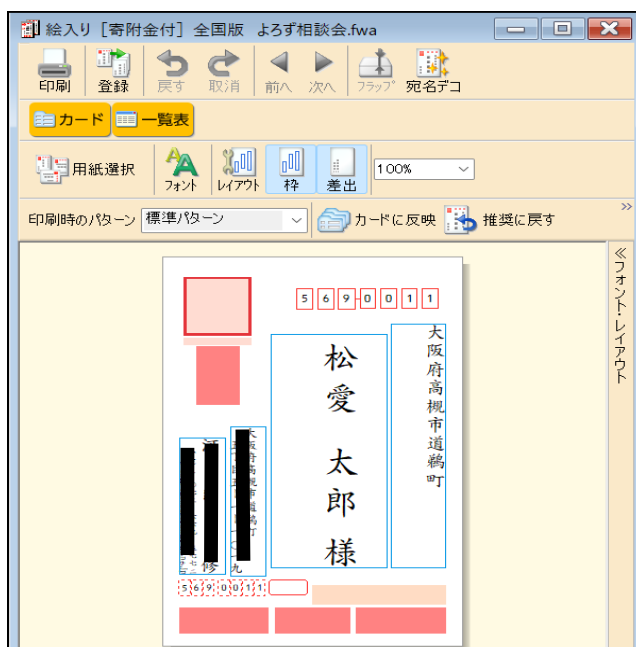
- 「宛名面を作る」タブ → 「差出人を作成・編集する」ボタンを押す。
- 差出人の住所、氏名、電話番号、E-mail等を登録する。
- 差出人は5種類登録でき、その中から選択できる。(個人、夫婦連名等)

4. 宛名の登録

- 「宛名面を作る」タブ → 「新しい住所録を作る」か「保存した住所録を開く」ボタンを押す。
- 「氏名(N)」欄に氏名を入力し、「敬称(K)」を選ぶ。(フリガナは自動付与される。)
- 「〒(Z)」欄に郵便番号を入力すれば、「住所1(1)」に自動変換される。「住所1(1)」の後部、または「住所2(2)」に続きの住所を入力する。

●宛名入力画面

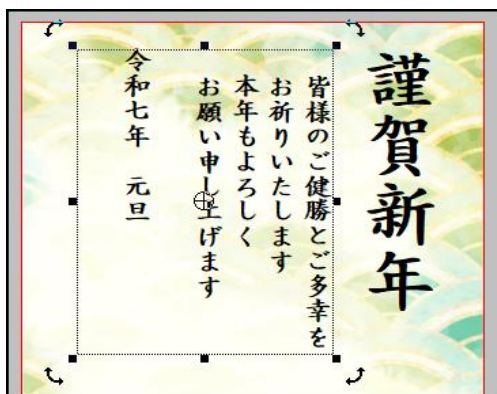
●宛名印刷イメージ



5. 「デザイン面を作る」を開く。
●「デザイン面を作る」をクリックする。

6. 背景の設定
●「デザイン面を作る」タブ → 「収録サンプルから開く」ボタンを押す
→ 「筆まめ35カテゴリ」タブを押す → 「01 年賀状」を開く → 「3 背景」を開く
→ 「03年賀背景(縦)」を開くと「背景画」が表示される。 → 「好みの背景」を選択する。

7. 文面ファイルへの文字入力



- 「文字・文章の入力」欄の中の「文章」を選び、入力範囲を設定する。
- フォントや文字サイズ等を設定する。
- 設定した入力範囲に文章を入力する。
- 入力範囲が「イラスト・写真」と重なる場合は「重なり順」→「最前面へ」に設定する。
- 「定型文章」を利用することもできる。
 - 文章が苦手な人も安心。「定型文章」を多数収録。
 - 年賀状に添える一言の文例「定型一言」を250点収録。

8. 文面データへのイラスト、写真入力



- 「画像の貼り付け」欄の中の「イラスト・素材ボックス」を選ぶ。
- 入力するイラストまたは写真を選択し、ダブルクリックで取り込む。
(左上に取り込まれる)
- イラスト、写真の位置を調整すれば完了です。
- 「イラスト・写真」文章と重なる場合は「重なり順」→「最背面へ」に設定する。
- デザインツール
 - 「お絵描きペン」「ハンコメーカー」「スタンプ」
 - たくさんの写真をセンスよく演出！「フォトコラージュ」
 - 写真がかんたんに切り抜ける！「フォトカッター」
 - 「クローンブラシ」
 - ・複数写真の「いいところ」を取って別の写真に貼り付け
 - 「QRコードの作成、貼り付け」
- 文字・画像の編集
 - 写真をおしゃれに加工できる！「筆まめフィルタ」
 - 写真をキレイに補正・加工！「筆まめレタッチ」

- 内蔵イラストや写真で満足できない場合は、インターネットのダウンロードサイトを利用可能。
(ただし、ダウンロードサイトには「有料」の場合があるので注意が必要)
- 無料のダウンロードサイトの例 (Canon Creative Park): ダウンロードするにはIDが必要。
<https://cp.c-ij.com/jp/categories/CAT-ST01-0174/top.html>

9. 文面ファイルの保存

- 「保存」ボタンを押すと、上書き保存される。
- 「ファイル」 → 「名前を付けて保存」 → 「保存場所」と「ファイル名」を指定する。

10. 他形式の住所録ファイルの変換

- 「宛名面を作る」タブ → 「他形式の住所録を開く」ボタンを押す。
- 「筆王」、「筆ぐるめ」の変換や「他の形式」の変換が可能。
 - ・「他の形式」→「Excel」、「Outlook」、「筆自慢」、「宛名職人」、「ウインドウズアドレス帳」、「筆休め」、「楽々をはがき」、「はがきスタジオ」、「筆まめの古い形式」等が変換できる。



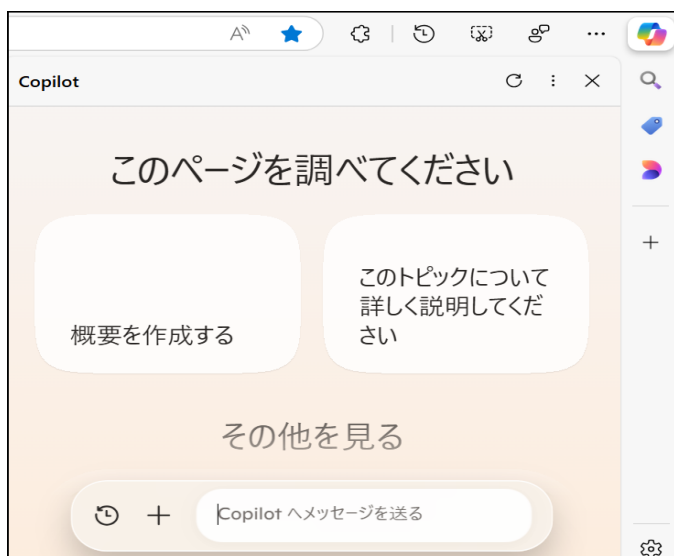
・上図の「その他の形式」ボタンを押すと、次画面が表示される。(10種類の変換機能がある)

[Windows 11 大型更新・24H2の概要]

1. 最新のWindows 11の正式名称は「Windows 11 Ver.24H2」です。
 - 「Windows 11 Ver.24H2」は 2024 年 10月1日に配信が開始された。
 - 「Windows 11 Ver.24H2」は サポート終了日が2026年10月13日となる。

2. 「Windows 11 Ver.24H2」の主な新機能。

(1) Windows Copilot (コパイロット) の改善



- 「初期画面」が左図のように変更された。
- ChatGPTなどの大規模言語モデル(LLM)を利用したAIアシスタントで、「チャット」機能で一般的な質問に答えてくれる。
- 「作成」機能で、要望した内容の小説や詩、感想文などを作成してくれる。要望した絵も描いてくれる。
- 普通の会話文を入力することでWindowsの操作ができるのが特徴だったが、できなくなった。
- Copilot が Microsoft Store アプリになりました。アプリになったことでタスクバーやスタートメニューに配置できるようになっています。それに伴い専用のチャットエリアのサイドバーなどの機能追加がされました。

(2) ファイルエクスプローラーの強化

- 圧縮ファイル作成の強化。今までは ZIP 形式にしか圧縮できませんでしたが、7-ZIP や TAR での圧縮ファイル作成ができるようになりました。右クリックメニューではコピーや貼り付けなどのアイコンにルビが追加されて視認性が向上しました。
- エクスプローラーのタブには複製機能が追加されました。

(3) 設定から変更できる項目の追加

- 今までコントロールパネルからでしか変更できなかった項目が設定で変更できるようになりました。

(4) タスクバーの機能の調整

- 現在起動中のタスクバーアイコンにカーソルを合わせたときにサムネイルだけでなく、テキストでタイトル表示するようになった。

(5) クイック設定の調整

- フクイック設定画面がスクロールするようになり切り替えて使えるようになった
(今まで6個のアイコンしか配置できなかったがより多くのアイコンを配置できる)。

(6) Wi-Fi 接続画面の強化

- Wi-Fi 接続画面に「ネットワーク一覧の更新」ボタンの追加。更に今やスマホでは当たり前になっている「接続を共有するための QR コード」の表示に対応。

(7) デフォルト背景(壁紙)の変更

- [デフォルトに設定されている背景(壁紙)]が「Windows スポットライト」に変更された。

(8) モバイルデバイスを管理 機能

- PC にリンクさせたスマホのカメラをワイヤレス WEB カメラとして利用できるようになった

(9) ライブキャプション

- (動画や音声の再生時に自動で字幕を表示する AI 機能だが現状は英語にしか対応していない)

(10) ペイントアプリの塗りつぶしと除去

- 生成 AI を利用した画像の不要部分の削除・除去機能(いわゆる消しゴムマジック的な機能です)。

(11) Image Creator / Restyle Image

- (フォトアプリの AI 写真加工機能)

(12) その他 AI 機能の追加

- 自動スーパー解像度 / Click To Do プレビュー / ペイントアプリのコクリエイター / フォトアプリの超解像 / などが追加されました。

(13) その他の機能強化

- Wi-Fi 7 への対応
- アプリが Wi-Fi 回線情報から位置情報を読み取る際に許可するかどうかをポップアップ表示するようになった。
- リモートデスクトップアプリの機能追加
- Windows 共有の改善
- タスクマネージャーの表示改善
- Windows バックアップからサウンドの設定のバックアップが可能になった
- PNG 画像ファイルのメタデータが編集できるようになった
- バッテリーの節約 機能が「省エネ機能」に名称が変更されて微改善
- BitLocker の改善と機能追加
- emoji 15.1 に対応
- Windows ターミナルで「sudo」コマンドが実装

[Windows 10 の大型更新は提供されません]

- 2022 年 10月に配信が開始された「Windows 10 Ver.22H2」が最終バージョンです。
(2025/10/14サポート終了)

[Windows 11 のサポート期限]

- 「Windows 11 Ver.22H2」のサポート期限は 2024/10/08 終了。
- 「Windows 11 Ver.23H2」のサポート期限は 2025/11/11 終了。
- 「Windows 11 Ver.24H2」のサポート期限は 2026/10/13 終了。